

# 西柘植小だより

みんながうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.19

2025 (令和7) 年 11 月 28 日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

## 5年生人権学習

9月25日、「いのちのはぐくみ教室」を行いました。講師に、林みち子さんをお招きし、お話を聞かせていただきました。「大人になるとは、自分の言葉に責任をもつこと」「嫌なことは嫌とはっきり言おう」「みんなにつけてほしい力は“楽力”。それは、自分を大切にできる、他人を幸せにできる力」等の話を聞き、子どもたちは今の自分を振り返って考えていました。また、自分たちの命がどのようにして生まれてきたのか、さまざまな困難を乗り越えて誕生したことを模型や図を示しながら聞かせていただきました。これまでに取り組んだ「生い立ち学習」での家族への聞き取りを思い出しながら聞いたのではないかと思います。命の大切さについてあらためて考えることのできる時間となりました。



10月16日には、伊賀日本語の会の菊山順子さんに来ていただき、伊賀市に住む外国人について、ともに暮らすために大切なことについて、お話を聞きました。外国人と私たちの間に「言葉」・「制度」・「ここ」の「3つの壁」があり、外国人にとって日本語はとても難しい言語であることや食べ物や習慣に違いがあること、そうした習慣の違い等から心の距離をもってしまうことがあることを知り、お互いに関わり合ってほしいと話されました。西柘植地区には多くの外国人が生活しています。普段出会う人たちについて知ることができる時間になりました。



## 6年生人権学習

9月26日、伊賀市人権政策課の川口素生さんからお話を聞きました。川口さんは、部落差別を知った子ども時代、鵜呑みにしてしまい差別をする側に立ってしまったこと、部落問題について学び、差別をなくす取組をしている人たちと出会う中で、差別のおかしさに気づき、仕事でもプライベートでも差別をなくす活動を続けていることを話されました。また、6年生の「学級目標」を達成するために、自分の言動を振り返って考えること、相手の気持ちを想像すること、相手の話を聞こうとして聞くこと等、今後の取組についてアドバイスをくれました。そうした行動が、いじめや差別をなくし、誰もが安心して過ごせることにつながるという話を聞かせていただき、子どもたちは目標達成に向けて気持ちを新たにしていました。



## 3年生三校交流会

10月15日、西柘植小、柘植小、壬生野小の3校による交流会をいがまち人権センターで行いました。3年生の子どもたちにとっては初めての交流会でしたが、出会いに緊張しながらもこれまでしてきた学習についてしっかりと発表し、レクリエーションを楽しむことができました。学習発表では、校区探検について西柘植市民センターやチンチロリン村の見学からわかったことや考えたことを伝えました。また、他校の発表を聞いて感想を返すこともできました。レクリエーションでは「さいころトーク」をしたり、各校出題の「クイズ大会」をしたりして、お互いのことを知り合うことができました。人権センターの見学も柘植小学校の子どもたちの案内でさせてもらい、センターの活動についてや誰もが利用しやすい施設について知ることができました。子どもたちは、初めての交流会にドキドキしましたが、楽しい時間を過ごす中で、来年西柘植小で行う4年生の交流会を今から楽しみにしています。



## 6年生修学旅行

10月16日・17日、京都方面に修学旅行に行きました。1日目は平等院鳳凰堂、竜安寺、金閣寺、立命館大学国際平和ミュージアム、立命館大学キャン



パスツアーに行き、2日目はハンカチ友禅染体験、二条城、太秦映画村へ行きました。各見学地はたくさんの見学者で混み合っていました。子どもたちはルールや集団行動の約束をよく守り活動することができました。2日間、寝食をともにする活動は初めてのことでしたが、これまで学級で話し合い取り組んできた、相手の気持ちを想像することやお互いを大切にする空気感を自分たちでつくることをよく考えて行動できていることに子どもたちの成長を感じました。お互いのことをさらに知り、つながりを強くできた2日間でした。



## 防災ハンドブックの配付

名張ケーブル TV アドバンスコープさんが制作した「防災ハンドブック 2025」をいただきました。このハンドブックは、伊賀市防災対策局と名張市危機管理室、三重大学の川口淳教授によって作成されたものです。来週行われる個別懇談時にお渡ししますので、ご家庭で活用してください。この機会に地震等の災害時にどのようにして自分の命を守るのか、お子さんと話し合っただけであればと思います。